

JPEC World Report

欧州 2026 年 7 月版

ハイライト

➤ 政策動向

- 再エネ推進に向けた再エネ貯蔵能力拡大に関して、欧州委員会・EU 加盟国・民間が連携。
- フランスでは洋上風力向け支援を拡大。EU 低所得国の脱炭素化等に対する ETS 収益分配による支援も継続されている。
- EU ETS の見直し案が公表。全体的には内容が緩和されているが、一部国際線が対象となるなど範囲拡大に関する内容も含まれる。

➤ 企業動向

- Repsol が、Toyota 等と共同でバイオベース再生可能ガソリンの実証テストを開始。ORLEN がスロバキアでの HVO 100 の販売を開始。
- 水素・合成燃料分野では、INERATEC から自社プラントの ISCC 認証取得や e-ディーゼルの性能評価状況の公表があった。OMV は、140MW 級のグリーン水素プロジェクト向け融資を獲得。
- Technip Energies、Neste 等が廃プラスチックの標準ソリューションの商用販売を開始。
- ENI は英国での核融合関連事業に参入した。

➤ 石油需給

- 中間留分クラックが引き続き高いことから、欧州製油所の原油処理量は前月並みの稼働率を維持。
- 足元の高稼働、およびファクト燃料需要を押し上げる要因を背景に、欧州のファクト燃料在庫は積みあがっている状態で、直近の供給リスクは低い。
- 中東品からの代替調達等で、米国からの輸入比率が増加している。米国の原油等の在庫水準は大きく低下している。



この記事は、賛助会員・情報提供サービス購読者限定です。
お申し込み後、続きをご覧くださいのための閲覧用パスワードをお送りします。

賛助会員・情報提供サービス購読者の方は、
下のボタンから続きをご覧ください。

続きを読む

◆情報提供サービスのお申込みはこちら>

◆賛助会員については、こちらからお問い合わせください>